

■和泉市地域公共交通網形成計画 事業の進捗状況一覧

【凡例】 ○:実施 △:一部実施 ×:未実施

基本方針	事業名		事業概要	実施期間 (年度)	実施主体(太字)、 関係主体	進捗状況	実施状況	今後の予定・課題
基本方針1: 主要駅を拠点として、まちづくりと連携した交通結節機能の強化	① 市内の交通結節点としての駅周辺整備及び交通環境の改善	北信太駅前整備	未整備となっている都市計画道路北信太駅前線(駅前広場も含む)の整備 [全体事業期間:~令和15年度予定]	R1~R5	和泉市	○	測量・設計及び用地測量を実施している。	地元住民の意見を聞きながら、警察・交通事業者などと協議を行い設計を進めていく。 地権者と用地境界の立会いを行い、用地買収に向けた交渉を行っていく。
		信太山駅のバリアフリー化	信太山駅の西側に改札口を設置し、スロープや多機能トイレを整備	R1	鉄道事業者、和泉市	○	地元説明を行い、駅舎のバリアフリー工事に着手している。	別途発注の水路暗渠工事と調整を図り、令和2年春に西口改札の供用開始を目指す。
		和泉中央駅前広場の改修	和泉中央駅において、一般車両の流入抑制など交通整序化を図るため、駅前広場の改修	R1~R3	和泉市	○	測量及び詳細設計を実施している。	警察・交通事業者と協議を行い詳細設計を進めていく。 改修工事については、令和2・3年度に実施を予定している。
		鉄道駅におけるバス乗り場案内の改善	鉄道駅におけるバス乗り場案内の改善	R1~R5	和泉市、交通事業者	×	バス乗り場案内の改善に向けて交通事業者と連携を図っている。	和泉中央駅前広場の改修にあわせ、交通事業者と連携を図り、バス乗り場案内サービスの向上を目指す。
	② 主要な拠点の利用者の利便性向上に向けた検討		主要な拠点への利便性向上に向けた検討	R1~R5	和泉市、交通事業者	×	市内各駅、医療施設、商業施設への公共交通による来訪の快適性や交通機関同士が拠点において、スムーズに乗り継ぎできる利便性向上策の検討には至っていない。	主要な拠点への交通ネットワークを交通事業者等と検討し、来訪者の快適性や乗り継ぎ等の利便性向上策を具体的に検討していく。 (例)総合医療センターへのアクセス、鉄道⇄一般路線バス/地域バス
③ 駅における地域公共交通と他の交通手段を合わせた案内の充実		徒歩…ウォーキングマップ・イベントの案内・連携 自転車…レンタサイクルの案内・連携、サイクルアンドバスライドの促進に向けた検討	R1~R5	和泉市	△	MMの推進に関する庁内アンケートを実施し、駅を総合的な移動拠点とする事業の抽出を行っている。また、和泉中央駅のレンタサイクルの案内サービス拡充として、駅からの案内表示の実施に向けて、関係機関と調整を進めている。	駅において徒歩・自転車等の他の交通手段との連携、組み合わせ可能な事業を抽出し、案内の充実を図っていく。また、サイクルアンドバスライドの促進に向けて、バス停の候補地を絞り込み、交通事業者・民間店舗と連携し、運用に向けた協議を行っていく。	
④ 南部地域のまちづくりと連携した交通ネットワークの検討	資料1	南部地域における公共交通の現況調査を踏まえ、南部リージョンセンターを含めた交通ネットワークのあり方を検討	R1~R5	和泉市、交通事業者	○	8月上旬より公共交通に対する意識調査としてアンケートを開始し、8月下旬から路線バス「父鬼線」の乗降等調査を実施していく。	アンケート及び乗降調査の結果を踏まえて、年内にワークショップを開催し、交通ネットワークのあり方の検討と併せてバス路線のMMIに取り組んでいく。	
基本方針2: 各交通機関の役割と特性を活かした、持続可能な交通網の形成	① 市内の主要拠点を中心とした将来地域公共交通網の構築		一般路線バス及び地域バス(市が主体となって運行するバス)との役割分担のもと、将来交通網を検討	R1~R4	和泉市、交通事業者、地域住民	△	6月にコミュニティバス「めぐ〜る」4ルート全便の乗降調査を実施し、8月下旬から路線維持運行バス「父鬼ルート」の父鬼〜榎尾中学校前間の乗降等調査を実施していく。	調査データを分析し、利用実態を踏まえて、見直し、改善が必要な路線については交通事業者、地域住民、関係団体等と計画立案に向けた協議・検討を行っていく。
	② 地域バス(コミュニティバス「めぐ〜る」、路線維持運行バス、オレンジバス)の運行形態の見直し	地域バスの継続的な見直し	地域の特性や現状等を踏まえ継続的なルート・ダイヤの見直し	R1~R4	和泉市、交通事業者	△	6月にコミュニティバス「めぐ〜る」4ルート全便の乗降調査を実施し、8月下旬から路線維持運行バス「父鬼ルート」の父鬼〜榎尾中学校前間の乗降等調査を実施していく。	調査データを分析し、利用実態を踏まえて、見直し、改善が必要な路線については交通事業者、地域住民、関係団体等と計画立案に向けた協議・検討を行っていく。
	③ デマンド型乗合タクシーの検討		運行エリアを設定し、デマンド型乗合タクシーの持続可能な運行形態を検討	R1~R5	和泉市、交通事業者、地域住民	×	他の交通機関と競合しないよう、交通空白地域と最寄り拠点やバス停を限定的に結ぶ運行エリアの設定を検討している。	地元の合意形成のもと、他の交通機関と競合しないよう、交通事業者と協議を行いながら、引き続き運行エリアの設定や運行形態を検討していく。
	④ 隣接市町との連携による路線バスの利用促進		隣接市町(泉大津市、河内長野市、堺市、岸和田市、忠岡町)との連携による路線バスの利用促進	R1~R5	和泉市、隣接市、大阪府、交通事業者、地域住民	△	河内長野市と連携し、6月20日に開催した第1回横山地域バス運営委員会において、市内を運行する地域間幹線系統「天野山線」の利用促進の取組みとして、河内長野市から路線バス及びコミュニティバスマップ、観光情報パンフレット等の配布を行った。	引き続き隣接市町と連携を図り、路線バスの利用促進に取り組んでいく。
	⑤ 観光施設と連携した公共交通の案内充実		拠点駅から観光施設への乗り継ぎ時刻を各施設のパンフレット等に掲載	R1~R5	和泉市、各施設	△	MMの推進に関する庁内アンケートを実施し、広報媒体(パンフレット等)に公共交通案内を掲載できる、または案内充実が可能な施設等の把握を行っている。	該当施設を把握して公共交通案内の充実を図る。

基本方針	事業名	事業概要	実施期間 (年度)	実施主体(太字)、 関係主体	進捗状況	実施状況	今後の予定・課題	
基本方針3: 公共交通の積極利用を促すための情報提供と利用促進施策の展開	① 住民、市職員、学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント(MM)の実施 資料2 資料3 資料4 資料5	住民、学校、転入者等に対するMMの実施	R1～R5	和泉市、地域住民、学校	△	小中学校及び義務教育学校に発行する『体育館だより』9月号の紙面を活用し、クルマと環境と公共交通をテーマとしてMMを実施していく。	転入者に対するMMの取り組みとして、地域公共交通総合マップを配布していくとともに、地域住民等に対する利用促進策を展開していく。	
		行政職員の積極的な利用	R1～R5	和泉市	○	毎月20日を本市のノーマイカーデーとして、前日の庁内アナウンスを通じて、市職員に対して公共交通通勤の推進を図っている。	引き続き、市職員が率先して公共交通利用を実践していく。	
		学校行事やイベントでの利用促進	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	○	10月15日に光明台北小学校(2年生対象)にてバスの乗り方教室を、11月11日に北松尾幼稚園(5歳児対象)にて交通環境教室(近畿運輸局との共催)を実施していく。	各教室で行うアンケート結果を分析し、今後の教室開催に活かしていく。	
	② 大阪府の実施している高齢者運転免許自主返納制度の周知と利用促進	運転免許自主返納制度の周知	R1～R5	和泉市、和泉警察署、交通事業者、地域住民	○	市ホームページに同制度の掲載に併せて、広報いずみ7月号の特集として免許自主返納の周知を図っている。	来春以降の運転者講習会の実施にあたり、周知案内に活用する町会・自治会内の回覧チラシに同制度の掲載サイトを閲覧できるQRコード等を表示しPRに努める。	
		市内における免許自主返納者へのインセンティブ付与の充実	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	×	タクシー事業者に特典サービス導入の検討に向けた呼びかけを行っている。	タクシー事業者のサポート企業拡充に向けて検討していくとともに、市商工部局と連携し、割引特典などの付与に協力いただける市内サポート企業(店舗)の拡大に努める。	
	③ 市民や来訪者に対する公共交通に関する一元的な情報案内の提供 資料6	乗り継ぎ拠点での情報案内の改善	R1～R5	和泉市、交通事業者、拠点施設、観光施設	○	地域公共交通総合マップを作成中であり、乗り継ぎ拠点施設の同マップ設置により案内情報を提供していく。	乗り継ぎ拠点施設に地域公共交通総合マップを設置し案内情報の提供を行っていくとともに、他の手法による情報提供を検討していく。	
		日常生活に即した利用案内の作成・配布	R1～R5	和泉市、交通事業者	○	市内の地域公共交通を一元的に表した公共交通利用を促す地域公共交通総合マップの作成に着手している。	地域公共交通総合マップの配布とともに、公共交通の活用方法を掲載した利用案内を作成していきます。	
		来訪者向けのサービスの充実	R1～R5	和泉市、交通事業者、観光施設、民間企業(情報提供事業者等)	○	これまでコミュニティバス、路線維持運行バスの乗換情報をNAVITIMEにて提供していたが、検索サイトにYahoo!路線情報を拡充し、新たにオレンジバスの情報提供を行った。	引き続き検索サイトでの情報提供を検討していく。	
	④ 地域、交通事業者、行政の連携による議論と実践の場づくり	住民・交通事業者との議論の場の設置	R1～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	△	地域に必要な交通を地域住民、交通事業者、行政を交えて検討していくにあたり、公共交通に関するアンケート調査を行っていく。	南部地域におけるオレンジバスのあり方について、アンケート調査の結果を踏まえて、ワークショップを実施していく。	
		地域主体の交通づくりの支援制度の検討	R1～R5	和泉市、交通事業者	×	地域主体の交通まちづくりの支援に向けて、先進事例を調査・検討している。	本市の地域特性や交通情勢などを勘案し、地域支援の仕組みを検討していく。	
	⑤ 高齢者及び障がい者に対する外出支援の実施	高齢者おでかけ支援事業の実施	R2～R5	和泉市、交通事業者、地域住民	△	事業の制度設計に向けて、交通事業者と協議を行っている。	来年度の早期実施に向けて、交通事業者等との協議を進めていく。	
		障がい者福祉タクシー助成事業	R1～R5	和泉市、タクシー事業者	○	今年度より重度障がい者福祉タクシー助成の年間24枚交付を26枚交付に拡充し、行動範囲の拡大と社会参加の促進を図っている。	引き続き外出支援を実施していく。	
	その他に関連する事業	① 自転車利用環境向上に関する施策	自転車走行空間の確保	R1～R5	和泉市、道路管理者、和泉警察署	△	和泉府中駅前北通り線の道路整備の実施にあたり、自転車通行空間の確保策として路面に矢羽(青色)表示を試験的に実施していく。	矢羽表示を試験的に実施できる道路や効果検証の方法については調査、研究していく必要がある。
			自転車ネットワーク計画の策定	R3～R5	和泉市、道路管理者、和泉警察署	×	国の自転車活用推進計画策定を機に、今年度、大阪府自転車活用推進計画が策定される予定であり、その動向を踏まえて、本市の自転車ネットワーク計画の策定に向けて情報収集を行っている。	大阪府自転車活用推進計画の策定を踏まえて、引き続き情報収集を行っていく。
			自転車利用ルール・マナーの啓発	R1～R5	和泉市、和泉警察署	△	自転車利用のルールとマナーの啓発及び教育を要素を取り入れたバスの乗り方教室を予定している。	実践的な交通安全教室の開催に向けて、他事例を参考に検討していく。